

防衛_{vol.58} 北海道

目次

- 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）の実施 … 2
- 防衛省所管 補助事業等実務担当者研修会の開催 … 3
- 平成30年度 北海道基地協議会総会の開催 … 4
- 名寄地区広域「ごみ埋立施設最終処分場」オープン … 4
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るために … 5
- 絆（きずな）～足寄町と足寄分屯地の紹介～ … 6～7
- 北海道建設業協会と意見交換会を実施 … 8
- 北海道防衛局幹部紹介（4月1日異動） … 8
- 駐屯地・基地創立記念行事 … 9
- 平成30年度 自衛官等募集案内 … 9
- 第39回防衛問題セミナーのご案内 … 10
- 防衛省職員採用試験のご案内 … 10

千歳基地への訓練移転（共同訓練）



米空軍 F-16戦闘機



航空自衛隊 F-15戦闘機



米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）の実施

4月23日から27日までの間、米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）を航空自衛隊千歳基地で実施しました。同訓練は平成18年5月に日米安全保障協議委員会（2+2）により発表された「再編実施のための日米のロードマップ」に基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的に、平成18年度以降、嘉手納、三沢、岩国の各米軍飛行場で行われている訓練の一部を千歳、三沢、百里、小松、築城、新田原の各航空自衛隊基地へ移転実施するものです。

今回の千歳基地での訓練は平成28年12月に続き9回目となります。



C-130輸送機から降りた米兵（4月20日）



戦闘機を見学する地元自治体関係者（4月23日）

今回、米空軍から三沢基地（青森県三沢市）の第35戦闘航空団所属のF-16戦闘機×6機、人員約100名が、また、航空自衛隊から千歳基地の第2航空団所属のF-15戦闘機×4機が参加し、北海道西方空域と三沢東方空域において、戦闘機戦闘訓練等が実施されました。

北海道防衛局は米空軍が千歳基地に展開した4月20日から4月30日の撤収までの間、千歳基地内に「現地連絡本部」（本部長：辻企画部長）を設置し、地元自治体等関係機関への訓練に関する情報の提供をはじめ、物品等の調達、航空機騒音測定等、同訓練を円滑に実施するための各種支援等業務を行いました。

また、4月23日には、地元自治体や市議会議員及び報道機関約70名に対する現地説明会を開催しました。米空軍のレメア大尉と当局の辻企画部長が訓練の目的や意義、概要等について説明を行いました。



米空軍による説明（左がレメア大尉）



説明を行う辻企画部長（左から3人目）

今回の訓練期間中（前後の展開・撤収期間を含む）、事件・事故や周辺住民からの騒音に関する苦情もなく、4月30日に無事訓練を終了することができました。

北海道防衛局は、次回以降も本訓練について、千歳基地周辺住民の方々の安心・安全のために万全を期すとともに、地元関係自治体と密接に連携を取りながら実施してまいります。

防衛省所管 補助事業等実務担当者研修会の開催

4月18日、千歳市内のホテルにおいて、北海道基地協議会（会長：山口千歳市長）主催、一般財団法人防衛施設協会が後援の「平成30年度防衛省所管補助事業等実務担当者研修会」が開催されました。

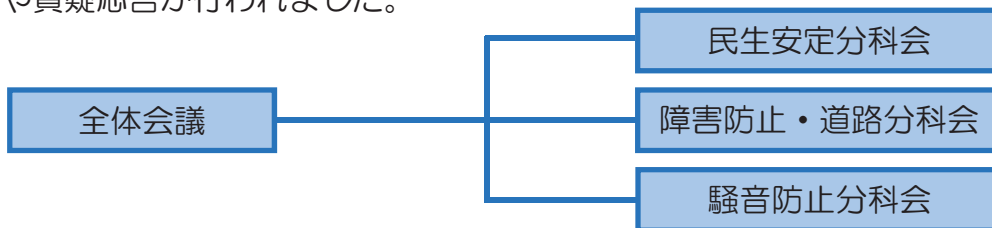
この研修会は、北海道防衛局から「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」に基づく各種補助事業等の制度や具体的な事務手続きなどについて説明し、当省の補助事業等について理解を深めていただく目的で開催されているもので、道内50自治体等の実務担当者約230名が参加しました。

冒頭、開催地を代表して横田千歳市副市長から「多数の基地や駐屯地等が所在する北海道が、今後も国土防衛の役割を果たしていくためには、自衛隊の体制維持・強化を継続して国に求めていく必要があります。その一方で、防衛施設周辺自治体は、防衛施設と住民の生活環境との調和と安定を図るため、防衛施設の設置・運用により生ずる障害の解消や緩和対策の実施、民生安定のための施策を積極的に推進していかなければならないと考えております。」と挨拶されました。



続いて、当局の辻企画部長から補助事業等について、「防衛施設周辺を取り巻く環境や社会情勢の変化もあり、防衛省としても所要の予算確保とともに、助成対象施設の拡大や見直しなどを行っており、引き続き、皆様方のご意見やご要望を伺い、より使い勝手の良い制度となるよう努めてまいります。」と挨拶を行いました。

自治体等の実務担当者は、全体会議の後、民生安定、障害防止・道路、騒音防止の各分科会に分かれ、当局の担当職員から補助事業等の制度、内容等について説明を受けるとともに、活発な意見交換や質疑応答が行われました。



平成30年度 北海道基地協議会総会の開催

5月17日、稚内市において、平成30年度北海道基地協議会（会長：山口千歳市長）総会が開催されました。本協議会は、北海道内の自衛隊等の基地が所在し、若しくはその周辺の自治体をもって組織するもので、今回は、12市14町の首長等のほか、防衛省地方協力局から榎賀周辺環境整備課長、北海道防衛局から古川局長、総務省及び北海道から合わせて約50名が出席しました。

冒頭、山口会長から「自衛隊は、自衛隊と共存する自治体にとって、災害派遣等に大きく貢献していることから、住民の安心の要にもなっている。基地協議会の会員相互が情報の共有を図りながら、防衛施設周辺環境整備等の制度の維持・拡充と予算の確保に向け、活動していく。」との挨拶があり、続いて、開催地である稚内市の工藤市長から「北海道基地協議会の皆様と連携をとり、自衛隊基地の周辺整備、自衛隊員と地域住民との絆がより一層深まるよう努力してまいりたい。」旨の挨拶がありました。

この後、来賓の挨拶を兼ねて総務省自治税務局固定資産税課の山中課長補佐から総務省所管の基地交付金及び調整交付金について、榎賀課長から平成30年度予算に係る防衛省所管の基地周辺対策経費等について、それぞれ説明を行いました。

総会終了後、参加者は、稚内市にある陸・海・空の自衛隊施設が同一地域に所在するという全国的にもめずらしい稚内分屯基地を訪問し、各司令から部隊の概要説明を受け、日本最北端の警戒管制レーダー等を視察しました。



名寄地区広域「ごみ埋立施設最終処分場」オープン

3月28日、名寄市において防衛省の補助事業で整備した「ごみ埋立施設最終処分場」のオープン式典が行われました。

名寄市に所在する名寄駐屯地及び名寄演習場から排出されるごみを安定的に処理することで駐屯地等の円滑な運用を図ることを目的に、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づく民生安定事業として、平成27年度から平成29年度までの間、総事業費約20億円（当局の補助対象事業費約16億円）に対し、約8億円の助成を行いました。

式典には、名寄地区衛生施設事務組合管理者の加藤剛士名寄市長をはじめ、同組合の副管理者を務める谷一之下川町長、山口信夫美深町長、佐近勝音威子府村長など多数の関係者が出席して執り行われました。



（左から4人目：加藤名寄市長、同5人目：古川局長）

加藤名寄市長は「広域での運営を念頭においた最終処分場が防衛省の補助を受けて無事に完成しました。施設運営に当たっては、住民の皆様との信頼関係を構築できるよう安全操業に努め、更なる効率的経営に取り組んでまいります。」と挨拶されました。

北海道防衛局からは古川浩人局長が出席し、「本施設が十分に効果的に活用され、皆様の暮らしと環境を守り支えるものとなることを心からご期待申し上げます。」と祝辞を述べました。

同処分場は、4月1日から供用開始されました。

防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～民生安定施設整備事業（農業用施設）の紹介～

防衛省は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、防衛施設周辺の地方公共団体に対し、補助を行っています。

今回は、農業経営の安定を目的とした施設として厚岸町内に整備した「搾乳牧場」をご紹介します。

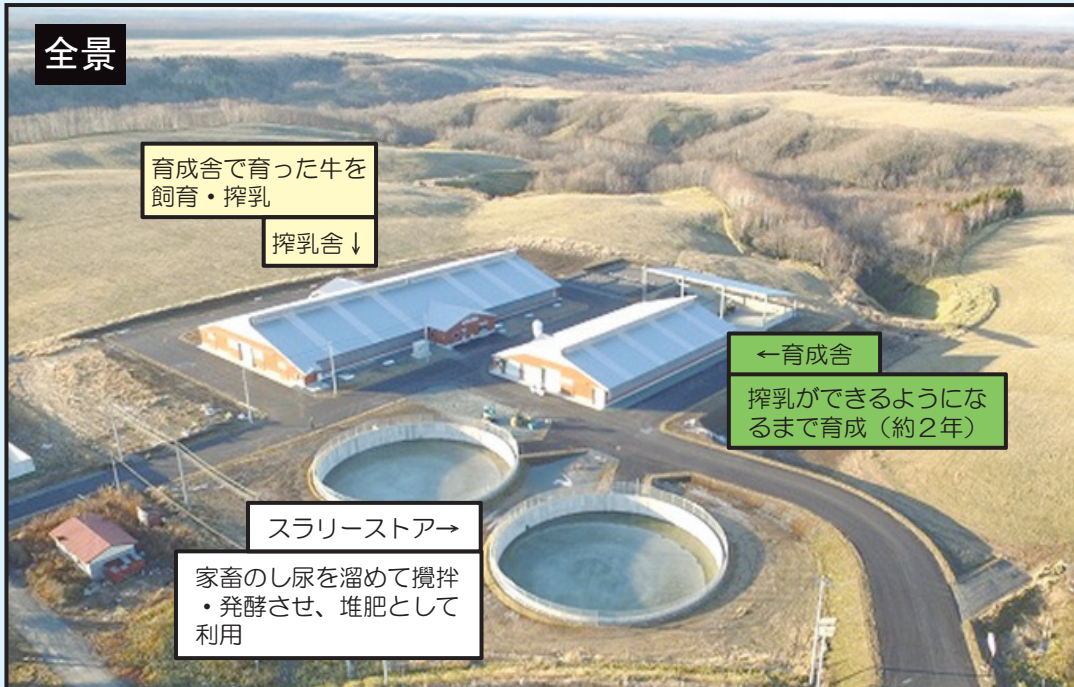


当該「搾乳牧場」では、乳牛の出産から育成、飼育・搾乳までを1つの施設で行い、近隣の乳製品加工場等へ出荷しています。

【補助事業の概要】

- 補助対象事業費：約8億1千4百万円(補助率：2/3)
- 補助額：約5億4千3百万円
- 規模等：育成舎A=1,278㎡、搾乳舎A=2,926㎡ など

全景



町の担当者の声

本町にとって酪農は主力産業であり、従来から地域の強い要望であった搾乳牧場が整備されたことで、生乳の生産拡大が期待でき、農家の方々の収入安定に貢献できると考えています。

利用者の声

生乳の生産が増え、今後の所得向上、経営安定に繋がると思います。

育成舎内部



搾乳舎内部(自動で搾乳)



「絆」

～足寄町と足寄分屯地の紹介～

足寄町は、

十勝の東北部に位置し、行政面積約1,408km²を擁し、豊かな森林資源と地理的条件を活用した農林業を基幹産業としています。



オンネトー
左：雌阿寒岳 右：阿寒富士

昨年8月に名称変更となった「阿寒摩周国立公園」に彩られる優れた自然景観の中に位置し、なかでも「オンネトー」は季節や天候、見る角度によって湖面の色が変わることから「五色湖」とも言われ、例年多くの観光客が訪れます。また、行政面積の約7割を占める森林は、道内有数の天然林として豊富な木材資源を蓄え、近年では役場庁舎や学校などの公共施設に地元カラマツ材を積極的に利用するなど、森林資源を有効活用した取り組みを行っています。



螺湾（らわん）ブキ

酪農が盛んなほか、代表的な農作物として小麦やてん菜、豆類などが挙げられ、近年では多彩な種類の野菜栽培も行われています。とりわけ、螺湾（らわん）ブキを使ったオリシナリティーあふれる山菜製品や足寄産の牛乳を使ったチーズをはじめとした乳製品、温泉熱を利用したハウス栽培いちごなどは「あしよるブランド」として全国的にも知名度が高く、まちの発展の原動力となっています。

平成30年度の主な施策として、資源とエネルギーの循環型農業の確立と地域経済の振興を図るため集約型バイオガスプラントの建設に着手し、本年本格稼働を目指しているところです。また、図書館設置をメインとした町民センターの大規模改修工事も進めています。子育て支援策としては、保育料や町内の小中学校の学校給食費を無償化し、地元足寄高校の存続に向けた取り組みとして、高校生第1学年のカナダ海外研修派遣事業や下宿機能を備えた多目的交流施設の増築、給食の無償提供など、次世代を担う子どもたちへのさまざまな支援を行っています。



放牧酪農風景

本町は今年で開町110年を迎えます。町の将来像を示した第6次総合計画では「緑の大地にあふれる 幸せ安全で安心なまち あしよる」をスローガンに、一昨年8月の大雨台風災害を踏まえ、防災無線の戸別受信機の全戸設置や町高齢者等複合施設と併設した新たなグループホームの整備等、住みよい町づくりに向けてさまざまな事業を計上したところです。

これからも、産業の振興や生活基盤の整備、福祉の増進、医療の充実を図ると共に、人と自然にやさしい地域社会を考え、子どもから大人まで、全ての人が「この町に住んでよかった」「この町に生まれてよかった」と思える、町民参加のふれあいのまちとなるよう取り組みを進めていきます。



ウッドキャンドルナイト

足寄町

〒 089-3797
足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1
電話 0156-25-2141
FAX 0156-25-2488

<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp/>



里見が丘公園・芝桜



足寄町長 安久津 勝彦



水害防災訓練

足寄分屯地との関わり

平常時から足寄町の防災事業への積極的な参画、危機管理や防災対策の推進、安心・安全なまちづくりにご尽力いただいています。また、一昨年8月の大雨台風災害時は適切かつ迅速なご対応を賜りました。さらには、地元との各種交流などを通じて地域の活性化にも格別のご貢献をいただいています。



足寄分屯地

足寄分屯地は、

足寄町に住む多くの人々により設立された「足寄町自衛隊誘致促進期成会」の並々ならぬ誘致への努力が実り、平成6年3月に開設されました。現在分屯地には、北海道補給処足寄弾薬支処を基幹に、第302基地通信中隊足寄派遣隊、第121地区警務隊足寄連絡班が配置されています。

足寄弾薬支処は、道東に所在する第5旅団の各部隊や矢臼別演習場に全国から集まってくる部隊への弾薬補給を任務とし、日々「日本一の弾薬支処」を目標に任務達成に邁進しています。

当分屯地は、町内等の諸行事、各種支援等に積極的に参加し、自衛隊の存在を身近なものと感じていただけるよう、日々努力しております。

今後も、地域とのふれあいを大切にして、連携を深め、地域の皆様に信頼される分屯地を目指し、引き続き、ご理解、ご協力を得られるよう努めてまいります。



北海道建設業協会と意見交換会を実施

北海道防衛局では、建設工事等の円滑な入札の執行を目的として、毎年、業界関係者との意見交換を行っております。今年は、5月14日に北海道建設業協会と意見交換会を実施しました。

意見交換会では、当局から平成30年度発注予定工事、競争参加における留意事項及び円滑な建設工事の執行を図るための防衛省の取り組み等の説明を行いました。

北海道建設業協会からは、東京オリンピック等民需活況による一部資材及び労務費の高騰への対応、1件で複数の現場があるときの現場間距離の配慮、適正価格入札のための更なる情報提供を要請される等、活発な意見が交わされました。

当局では、これらの貴重なご意見を受け、今後の業務に反映させていきたいと考えております。



意見交換会の実施状況
(調達部長からのあいさつ)

北海道防衛局幹部紹介（4月1日異動）

総務部長 黒田 裕司

4月1日付の異動で総務部長を拝命しました黒田です。

出身は北海道ですが、勤務はちょうど4半世紀ぶりとなります。当時の勤務場所は今の合同庁舎ではなく北部方面総監部横の単独庁舎でしたし、札幌の街並みも大きく変わっており、時の流れを痛感しているところです。

一方、この10年間でわが国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増すなかであって、北海道の皆様からいただいている防衛省・自衛隊への多くの期待と信頼に応えるべく、北海道防衛局職員として、北海道の皆様との架け橋となれるよう、広報活動や情報提供に一層取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



調達部長 儀保 忠光

4月1日付の異動で調達部長を拝命しました儀保です。

北海道勤務は、平成19年度から2年間、帯広防衛支局に勤務して以来、10年ぶり2度目となりますが、前任地沖縄との気候、気温など自然環境の違いに、改めて日本列島が南北に長いことを体感しているところです。

調達部は、自衛隊が任務を遂行するための基盤となる施設の建設や装備品の調達に関する業務を行っており、職員はその専門分野で日々頑張っております。

今後も、自衛隊がその能力を最大限発揮できるよう、品質の良い施設建設等を目指し、地元北海道の皆様のご意見にも耳を傾けながら、仕事に取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



管理部長 渡井 明男

4月1日付で北海道防衛局管理部長として着任しました渡井です。

北海道での勤務、生活は初めてであり、着任以降、内地に比べると気温の低さも相まって心身共に引き締まる思いをしております。

防衛施設を円滑かつ効果的に運用し、安定的に使用させていただくためには、関係地方公共団体及び地域の皆様方のご理解が必要不可欠であることを肝に銘じ、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



帯広防衛支局長 宮川 真一郎

4月1日付で帯広防衛支局長を拝命しました。新地での様々な出会いを楽しみにしています。

着任間もないなかであっても、道東地域の皆様への防衛省・自衛隊に対するご理解と信頼の深さ、日頃のご支援とご協力の大きさを感じる日々です。これまで積み重ねてきた皆様との信頼関係の重みを改めて胸に刻み、一層強固な関係を築いていけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。





北海道防衛局の
ブースに、ぜひ
お立ち寄り
ください！

駐屯地・基地創立記念行事

～7月分まで

-注意-
行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各部隊等へご確認ください。
□の行事には北海道防衛局のブースを設置します。皆様のご来場をお待ちしています！

開催日	イベント名	お問い合わせ	開催日	イベント名	お問い合わせ
6/17 (日)	第2師団創立68周年及び 旭川駐屯地開設66周年記念行事	第2師団広報室 TEL 0166-51-6111	7/8 (日)	静内駐屯地創設54周年・第7高射 特科連隊創設37周年記念行事	静内駐屯地広報班 TEL 0146-44-2121
6/17 (日)	美唄駐屯地創立41周年及び 第2地对艦ミサイル連隊創設26周年 記念行事	美唄駐屯地広報室 TEL 0126-62-7141	7/14 (土)	北恵庭駐屯地創立68周年記念行事	北恵庭駐屯地広報室 TEL 0123-32-2101
6/23 (土)	第1特科団創設・北千歳駐屯地 開庁66周年記念行事	第1特科団広報班 TEL 0123-23-2106	7/15 (日)	釧路駐屯地創立65周年 第27普通科連隊創設56周年 記念行事	釧路駐屯地広報班 TEL 0154-40-2011
6/24 (日)	北海道補給処 島松駐屯地創立66周年記念行事	島松駐屯地広報班 TEL 0123-36-8611	7/16 (月)	美幌駐屯地創立67周年記念行事	美幌駐屯地広報班 TEL 0152-73-2114
6/30 (土)	苗穂分屯地創設66周年及び 北海道補給処苗穂支処創立61周年 記念行事	苗穂支処総務課 TEL 011-711-4251	7/16 (月)	八雲分屯基地創立41周年記念行事	八雲分屯基地総務班 TEL 0137-62-2262
7/1 (日)	留萌駐屯地創立65周年記念行事	留萌駐屯地広報班 TEL 0164-42-2655	7/21 (土)	岩見沢駐屯地創立65周年及び 第12施設群創設43周年記念行事	岩見沢駐屯地広報班 TEL 0126-22-1001
7/1 (日)	遠軽駐屯地創立67周年記念行事	遠軽駐屯地広報班 TEL 0158-42-5275	7/22 (日)	千歳基地航空祭	千歳基地監理部 広報室 TEL 0123-23-3101
7/1 (日)	丘珠駐屯地創立及び北部方面航空隊 創設65周年記念行事	丘珠駐屯地広報室 TEL 011-781-8321	7/22 (日)	幌別駐屯地創立65周年記念行事	幌別駐屯地広報班 TEL 0143-85-2011
7/1 (日)	倶知安駐屯地創立63周年記念行事	倶知安駐屯地広報班 TEL 0136-22-1195	7/29 (日)	稚内分屯基地開庁64周年記念行事	稚内分屯基地総括班 TEL 0162-23-5377

平成30年度自衛官等募集案内

平和を、仕事にする。

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表	待遇・その他		
自衛官候補生	18歳以上 27歳未満 の男女 ※1	年間を通じて 行っております。	受付時にお知らせします。 ※2	合格発表日は、試験日 にお知らせします。	所要の教育を経て、3か月後に 2等陸・海・空士に任用 陸上は1年9か月、海上・航空 は2年9か月を1任期として任 用（以降2年を1任期）		
一般曹候補生					1次： 9月21日（金） ～23日（日） 2次： 10月12日（金） ～17日（水） ※ いずれか1日を指定されます。	1次： 10月5日（金） 最終： 11月9日（金）	入隊後2年9か月経過以降、選 考により3等陸・海・空曹
航空学生					7月1日（日） ～ 9月7日（金）	1次： 9月17日（月） 2次： 10月15日（月） ～21日（日） 3次 （海）11月22日（木） ～12月19日（水） （空）11月17日（土） ～12月20日（木）	1次： 10月 5日（金） 2次 （海）11月13日（火） （空）11月 5日（月） 最終 31年 1月22日（火）

※1：平成30年度の募集人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。
 ※2：平成31年3月高等学校卒業業者又は中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、平成30年9月17日以降に行います。

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。

札幌地方協力本部
011 (631) 5472

旭川地方協力本部
0166 (51) 6060

函館地方協力本部
0138 (53) 6241

帯広地方協力本部
0155 (23) 5882

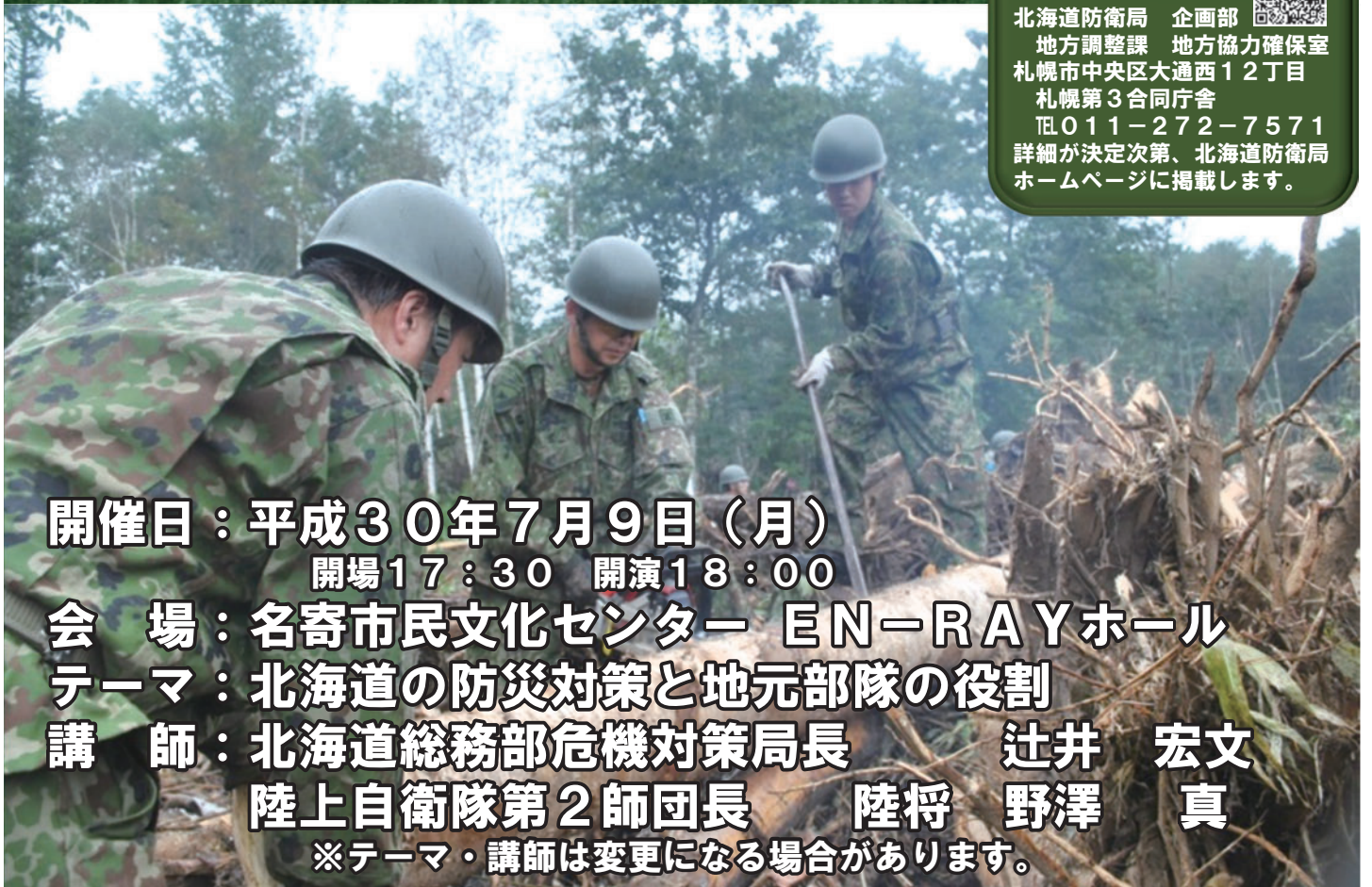
第39回防衛問題セミナーのご案内

北海道防衛局では、わが国の防衛に関する諸施策などについて、多くの方々にご理解を深めていただくことを目的に、防衛問題セミナーを開催しています。
事前申し込みの必要はなく、**入場無料**でご参加いただけます。

お問い合わせ先



北海道防衛局 企画部
地方調整課 地方協力確保室
札幌市中央区大通西12丁目
札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7571
詳細が決定次第、北海道防衛局
ホームページに掲載します。



開催日：平成30年7月9日（月）

開場17:30 開演18:00

会場：名寄市民文化センター EN-RAYホール

テーマ：北海道の防災対策と地元部隊の役割

**講師：北海道総務部危機対策局長 辻井 宏文
陸上自衛隊第2師団長 陸将 野澤 真**

※テーマ・講師は変更になる場合があります。

防衛省職員採用試験のご案内

北海道防衛局は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験）の合格者から事務職、技術職の職員を採用しています。

平成30年度国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）

《受験資格》

- 平成30年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者（平成28年4月1日以降に卒業した者が該当します。）及び平成31年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- 人事院が(1)に掲げる者に準ずると認める者

《試験の日程》

防衛省ホームページ
「採用情報」



人事院ホームページ
「国家公務員試験採用情報NAVI」



受付期間	申込みは人事院ホームページからインターネットにより行ってください。 6月18日(月) 09:00 ~ 6月27日(水) 受信有効
第1次試験	9月 2日(日)
第1次試験合格発表	10月 4日(木) 09:00
第2次試験	10月10日(水) ~ 10月19日(金)のうち人事院が指定する日時
最終合格発表	11月13日(火) 09:00

※平成30年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）は申込みを締め切りました。

試験の詳細は防衛省及び人事院ホームページをご参照ください。